



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

回答者の内訳

	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
男性	122	192	63	23	400
女性	181	165	65	40	451
合計	303	357	128	63	851

社協が福祉アンケート実施

志津南地区社会福祉協議会(小野繁祐会長)は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会を築くため「志津南地区福祉活動計画」(3か年計画)をまとめましたが、実現に向けた具体的な活動を進めるため、先般、高齢者の生活実態把握のため、全世帯及び60歳以上全員145

72パーセントが近所との関わり望む

老人クラブ行事には消極的

2人を対象にアンケート調査を行いました。結果、59.4%にあたる851人から回答を得ました。最も高かったのは70歳代の75%で、60歳代の72%がこれに続いています。地域福祉活動の中心世代の方が高い関心を示していることがうかがえます。調査結果の主な内容は次の通りです。

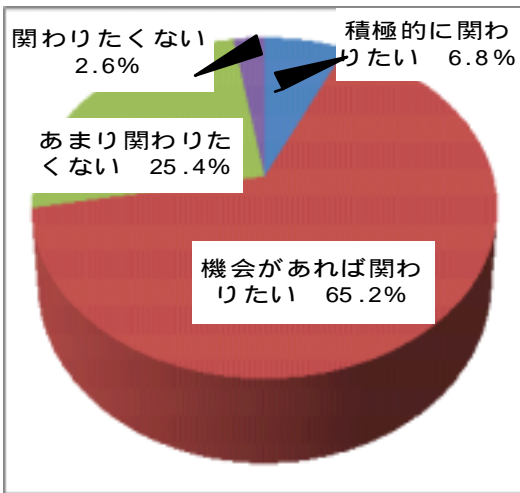
「近所付き合いの程度」については「訪問しあう」は10%、「世間話をする」は44%。合わせて54%の人が近所となん

らかの付き合いをしていることを示しています。「隣近所との程度の関わりを望むか」では「機会があれば関わりたいと思うている」が72%あり、もっと、付き合いを深めたいと考えていることをうかがわれます。一方、「関わりたくない」とする人も28%あり、その理由として「友人がいるから」「干渉されずのんびりしたい」を挙げています。「不具合になった時など近所の方の援助」については、65%の人が「頼みたい」としてい

ます。また福祉委員制度については、69%の人が状況によっては見守り等を頼みたいと考えており、災害時避難要援護者制度については、82%の人が、個人情報を守られることを前提に「必要」とし一定の理解を示しています。一方、老人クラブの行事については参加している人は16.9%にすぎず、その理由を「他で活動している」「時間がない」「わずらわしい」としています。ただ、ボランティア活動については64%の人が「機会があれば参加したい」と回答しており、こうした人たちに参加を促す活動を進めていく必要があります。

では39%の人が年齢や健康状態あつた内容を望んでおり、これからのまちづくりについては、老若世代間の交流、近所との交流、福祉のネットワーク、高齢者支援、ふれあいの場所づくり等を望んでいることが分かりました。社協では、今回の調査結果をしっかりと踏まえて今後の方策に反映し、自治会とも連携、協働しながら福祉のまちづくりに取り組みんでいく考えです。

隣近所との関わりについて



福祉委員制度の利用について

是非とも頼みたい	39	4.6%
状況によって頼みたい	550	64.6%
遠慮したい	133	15.6%
拒否したい	16	1.9%
分からない	113	13.3%
合計	851	

総会の日程
各町内会と自治連合会の総会日程は次のとおりです。

3月19日(土)

- 若草1丁目 9時から
- 若草2丁目 10時40分から
- 若草3丁目 12時30分から
- 若草4丁目 14時10分から
- 若草5丁目 15時50分から

3月20日(日)

- 若草6丁目 9時から
- 若草7丁目 10時40分から
- 若草8丁目 13時から

岡本町西 14時40分から

3月27日(日)

自治連合会 10時から

会場はいずれも市民センター(公民館)です。

立命大で春季総合消防訓練

雨中に迫真の消火救出活動

志津南地域住民ら熱心に見守る

春の全国火災予防運動に先立ち、湖南広域消防局は2月28日午後、立命館大学BK Cで春季消防総合訓練を行いました。

雨の影響で参加予定だった県防災航空隊のへりは出動を中止しましたが、所管の中、東、西、南、北の5消防署のほか、訓練現場の立命館大学職員、学生、草津署、草津市消防団、滋賀医大、草津総合病院、志津南など周辺町内会の関係者あわ

せて約220人、出動車両30台が参加する大掛かりな訓練となりました。

訓練は午後1時半、同大学アクロスウィング6階で火災が発生、周辺道路で通学バスが交通事故、という想定で開始されました。

雨を切り裂いてサイレンを鳴らした消防車、救急車が現場に到着。たちにはしご車が火災発生現場の同ビル6階に向け消火活動を開始、消防隊員らは館



負傷した学生(想定)を救出するレスキュー隊員

内にいた学生らを避難誘導する一方、逃げ遅れた一人をレスキュー隊員がロープを使って救出し病院に搬送しました。

訓練は約30分で終了しましたが、見学の地域住民らは、降

りしきる雨の中に流れる発炎筒の煙や決められた任務遂行のため走り回る多数の消防隊員たちなど、迫力満点の消防活動を固唾(かたず)をのんで見守っていました。

訓練終了後、新しく配備されたドイツ製の救助工作車、トイレや仮眠設備も備えた応援部隊用の災害支援車の展示紹介も行われました。

寒風に負けずもちつき大会

元気よくモチをつく南っ子



今年も昨年とほぼ同様、子どもや地域の協力者、保護者ら約110余人が参加しました。今年度は新たに豚汁をメニューに追加しました。

「わんぱくブラザ南っ子」の今年度最後の事業「もちつき大会」が2月19日、志津南市民センター(公民館)で盛大に行われました。

つき方の手本を示し、続いて、子どもたちが順番に小さな杵で挑戦しました。

おとなたちに負けずに、子どもたちのもちをつく音や勇ま

い掛け声がこだまし、もちつきを盛り上げました。つき終わったアツアツのおもちは、大根おろし、きな粉をまぶしたり、醤油と海苔で磯巻きにしたり、あんこを包んでおいしく頂きました。

風は冷たかったものの、おもちを味わったあと、暖かい豚汁で体を温めました。

子ども会、PTA、地域の協力者のみなさん、この1年間ご協力ありがとうございました。

社協コンサート和やかに

演奏に耳を傾ける参加者



休日のひと時を地域の皆さんにゆったりと過ごしてもらおうと、志津南社会福祉協議会主催の「ふれあいコンサート」が2月20日、志津南市民センターで開かれました。

コンサートには50人が出席。「カルテットEです」の皆さんによる「アメイジング・グレイス」の演奏で始まり、クラシックの引き続き、クラシックの

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、「ジューピター」、「メヌエット」のほか、「コーヒールンバ」、「宇宙戦艦ヤマト」、「コンドルは飛んでゆく」など、美しい曲、楽しいメロディを聞かせていただきました。

また、笛奏者の坂井さんからの「ねぎ、秋刀魚、バナリーナ」など、今にも食べられそうな面白い笛の紹介は楽しくて、皆さんから笑い声が起きました。

休憩お茶タイムでは演奏者を囲んで交流、後半はポピュラーな「別れのサンバ」など、5曲を楽しんだ後、「うれしいひな祭り」、「早春賦」など3曲を参加者の大合唱でしめくくり、楽しいひと時を過ごしました。

こよみ

一年生と住民が昔遊びで交流

志津南小一年生62人と若寿会を中心に地域の方々20人が2月21日、昔遊び交流会を持ちました。

コマ回し、けん玉、かるた

あやとり、おはじき、お手玉など、各コーナーに分かれ、昔から伝わる遊びを一緒に楽しみました。

コマ回しでは参加者の手のひらの上で回るコマが児童の手のひらに移されると笑顔を見せていました。

コマ回しに興じる一年生



また、あやとりで5段梯子(はしご)をしてみせると、一年生がその続きに東京タワーをつくるなど器用な指さばきで逆に教えられた場面も。また、お手玉

遊びでは参加者から手ほどきを受け、活発に身体を動かし挑戦していました。童心に帰った大

和やかな交流でした。

ふれあいコンサート

志津南地区青少年育成区民会議主催の「ふれあいコンサート」



が志津南小学校と合同で2月7日午後、同校体育館で開催されました。

「音の豊かさをみなさんへ」と語りかけた同コンサート。フルートやピッコロなどの楽器で「ダンシング・パレス」の軽快なリズムを演奏しながら登場する「アンサンブル・リネット」の男性4人の演奏家を児童たちは大きな拍手で迎えました。

「クラリネットを壊しちゃった」「白鳥の湖」などクラシックの名曲のほか、子ども

豊かな音色に耳をすます児童たち

- 3月15日(火) 高穂中学校卒業式 9:30~11:00
- 3月18日(金) 志津南小学校卒業式 9:15~11:00
- 3月19日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 3月22日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:00
- 3月26日(土) 若草くるみ保育園卒園式 10:00~11:00 社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 3月27日(日) 自治連合会総会 10:00~12:00
- 4月1日(金) ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 4月2日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 4月12日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30 狂犬病予防注射 13:40~14:30

毎週金曜日 ふれあい喫茶 10:00~12:00 五丁目集会所

印の会場は志津南市民センター(公民館)です

マクロビオテックに興味津々

志津南市民センター(公民館)は2月21日、28日(月)の2日間、マクロビオテックを体験する「食育講座」を開催しました。

ギターなどいろいろな楽器を使ってパフォーマンスを交えながらの愉快な演奏、そして締めくくりに「琵琶湖周航の歌」。会場に流れた音色の広がりはみんなを豊かな気持ちにしてくれました。

マクロビオテックとは、玄米・雑穀を中心に、丸ごと旬の野菜などを食べる食事法です。若草在住の宇野公子さんを講師に、一回目は、一見ラフテ師に、一回目は、一見ラフテ師のように見える車麩(ふ)の照り焼き、甘味料に玄米甘酒を使いたいちこの甘酒プリンなど六品を作りました。

二回目は、神(ひえ)コロッケ、里芋の豆乳グラタン、稗ドーナツなどの洋風の六品に挑戦しました。野菜を丸ごと使うので、ゴミも少なく環境にも、そして体にも優しいというのがマクロビオテックの売りです。



普段と違う調理法を学ぶ参加者

普段とは違う調味料や調理法に、受講生は興味津々といった様子でした。楽しい調理と、和やかな会話のうちに、「おいしく、正しく、美しく」をテーマにした食育講座は、自然の恵みを見直すきっかけになり、関心も高まり、実りのある講座になりました。



まちかど アングル

異常とも思えるポカポカ
陽気が続いた2月下旬、か

見えるとは知らなかった。
がやき通りを歩いていて、ふと顔を上げると名
神高速道路の先に、優美な姿をした山が目に入っ
た。湖南のシンボル、近江富士(三上山)であ
る。のどかな春霞の向こうにやさしくたたずん
でいる。こんな場所からこんな風に近江富士が

近江富士



彦根で今年度締めくくる

志津南市民センターは3月9日、今年度のやすらぎ学級「よいよい絆と幸せ」を締めくくる「閉講式&お楽しみ会」をマリアージュ彦根で開催しました。当日朝、バスで彦根へ向かい、会場で記念写真を撮ったあと、今年度の学級年間報告や各サークル活動報告の後、修了証、皆勤賞授与に移り、閉講式を終えました。
正午からは昼食を兼ねたお楽しみ会。学級生の歌や特技の披露などが続き、講師の村井さんのギター伴奏で、琵琶湖就航の歌など、みんなで楽しく大きな声で歌いました。
今年度の運営委員長・副委員長も選出され、新年度からのやすらぎ学級での新しい仲間との出合いを楽しみに、彦根を後にしました。

来年度の受講生募集

志津南市民センター(公民館)は来年度の「やすらぎ学級」の受講生を次の通り募集しています。一年を通して環境や福祉、人権などの課題学習や音楽鑑賞館外研修なども計画します。
対象 60歳以上の市民
日時 5月から翌年3月までの原則毎月第4水曜日
午後1時30分〜3時
(全10回)
参加費 申込時に千円(受講料六百円を含む)その他必要に応じて個人負担となります。
申し込み、問い合わせは志津南市民センターへ。

「みんなでトーク」に40人

老人クラブ若寿会と志津南市民センター共催の草津市社会福祉課の出前講座「みんなでトーク」地域福祉は「近所の底力」が2月19日午後、志津南市民センターで開催されました。災害がいろいろな所で発生している時でもあり、地域の方も含め約40人が熱心に話を聞きました。若草の町は災害や事故もなく、平和な町だと思っていますが、災害はいつ起こるか分かりません。不時の災害に備えて

折々の記

一番大切な事は、ご近所の助け合い支え合いだと思います。日頃から地域やご近所と親しく声なりました。
なつた覚えがあります。

既に独立した子どもが、まだ高校生頃。進路相談でお目にかかったのは、とても誠実そうで穏やかな先生でした。当時、子どもはまだ、将来はどんな方面に進みたいとか、何をやりたいとか確たる思いがなく、それで進路など決められるのだから、不安な時期でした。
旅立ち
取る力を蓄えることこそが大切だっ

そんな親の不安に、先生は、穏やかに「大丈夫ですよ。ハッキリとした意思を持って、岐路に立った時も、どちらが好きか?といったあいまいな決め方で、実はおおよそ間違いないのです」。そんな風に言われました。理系か文系かも、どんな学部に進学するのも、ただなんとなく「好きかも...」で選んでいく人生に、振り返って意外と間違いはないのだと。親として、気持ちが随分楽に
旅立ちの季節。思い出深い生活に別れを告げて、新しい世界に踏み出そうとしている全ての人達に、心からのおめでとを伝えたいと思います。そして、そんなこんなが遥かな思い出になってしまった世代ではありますが、私もわくわくした新しい春を探しにいきたいと思います。
(万年春待人)